

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [25840]HPV-DNA簡易ジェノタイプ判定

受託開始日

- 平成25年5月27日(月)

HPV-DNA簡易ジェノタイプ判定

子宮頸がんは、高リスク型HPVの持続感染が原因となって発症するとされ、定期的な検査で未然に防ぐことができるがんとされています。現在、日本では年間約9,000人が子宮頸がん罹患し、約3,000人が死亡しています（国立がんセンターがん対策情報センター調べ）。

HPVはおもに性交渉によって感染するウイルスで、近年の初交年齢の低年齢化に伴い、20～30代での子宮頸がんの発症が急激な増加傾向を示しており、学童期におけるワクチン接種や定期的な検診による早期発見の必要性が謳われています。

本検査は、液状細胞診（LBC：Liquid Based Cytology）検体よりDNAを抽出し、子宮頸がん発症に関与するとされる高リスク型HPV遺伝子の網羅的な測定に加え、高リスク型の中でも特に子宮頸がんへの進展リスクの高い2種類の型（16型及び18型）については、その型別の同定も行うことから、従来のHPV検査と比べ臨床的な有用性がより高いという特徴があります。

検査要項

項目コード	25840
検査項目名	HPV-DNA簡易ジェノタイプ判定
検体量/保存方法	LBC用採取液 2.0mL/冷蔵
検体容器	ThinPrep又はSurePath専用容器*1 容器番号：81又は82
検査方法	ロシュ/リアルタイムPCR法
基準値	検出せず*2
所要日数	3～5日
検査実施料	360点（「D023」微生物核酸同定・定量検査の「5」HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定））*3～5
判断料	150点（微生物学的検査）
備考	<p>*1：液状細胞診実施済み検体を提出される場合は、コンタミネーションに十分注意し、2.0mL以上分注しご提出ください。また、その際は液状細胞診の商品名をご記入下さい。</p> <p>*2：本検査では16型、18型の型別判定を行います。その他、66型を含む12種類の高リスク型HPV（31,33,35,39,45,51,52,56,58,59,66及び68型）に関しては遺伝子同定（型別の判定は出来ません）を行います。</p> <p>*3：子宮頸部細胞診の結果、ASC-US（意義不明異型扁平上皮）と判定された患者に対してHPV検査を行った場合に限り、「HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）」を算定できます。</p> <p>*4：細胞診と同時に実施した場合は算定できません。また、「HPV核酸検出」と併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定できます。</p> <p>*5：当該検査は、HPV核酸検出の施設基準を届け出ている保険医療機関のみ算定できます。</p>

参考文献

三浦俊昭, 他：医学と薬学, 69 (1), 157～162, 2013.